



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東 名

上場会社名 中部飼料株式会社

コード番号 2053 URL <http://www.chubushiryo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 久光 正郎

問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部長

(氏名) 井藤 直樹

TEL 052-562-2010

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	125,867	6.6	2,469	80.2	2,752	92.6	2,051	113.0
27年3月期第3四半期	118,054	2.6	1,370	△23.0	1,429	△27.7	963	△28.5

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 1,281百万円 (△31.7%) 27年3月期第3四半期 1,876百万円 (0.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	72.44	—
27年3月期第3四半期	36.59	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	83,494	43,689	51.7
27年3月期	65,408	38,225	58.4

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 43,125百万円 27年3月期 38,204百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
28年3月期	—	9.00	—		
28年3月期(予想)				9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	171,000	10.3	3,100	7.4	3,200	6.4	2,200	36.2	76.45

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 平成28年3月期の業績予想の1株当たり当期純利益は、第三者割当増資分(3,836,400株)を含めた予定期中平均発行株式数により、算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	30,371,908 株	27年3月期	26,535,508 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	101,892 株	27年3月期	148,471 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	28,326,791 株	27年3月期3Q	26,335,386 株
----------	--------------	----------	--------------

※期末自己株式数については、従業員持株ESOP信託口が所有する当社株式(28年3月期3Q48,300株、27年3月期95,800株)を含めて記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第 3 四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第 3 四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第 3 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善など景気の持ち直しが進んでおりますが、中国経済の減速による世界同時株安が進行するなど、引き続き景気の先行きに懸念が残る状況にあります。

飼料業界におきましては、期初は安値傾向で推移していた主原料のとうもろこし価格が、6月中旬以降、米国の多雨による作柄低下傾向から急騰した後、天候回復から値を下げるなど、振れ幅が大きく推移しました。こうした原料状況を反映して、飼料メーカー各社は配合飼料価格を 2 度値下げしました。値下げの影響とメーカー間の競争激化により、厳しい事業環境が続いております。また、10月5日に TPP 交渉が大筋合意に達し、当業界に大きな影響を与えると予想されます。

このような状況のなか、当社は顧客の利益に貢献する差別化飼料の拡販や製販一体の強みを活かした提案営業の推進などで売上拡大を図る一方、原料の有効利用によるコストダウン等で原価を低減するなど、業績の向上に努めてまいりました。また、経営体質をより強固にすること及び差別化飼料の製造をより一層強化して競争力を高めることを目的に、7月31日に 2 つの資本業務提携を個別に締結しました。1 つは、伊藤忠商事株式会社及び伊藤忠飼料株式会社との提携で、その内容は、10月1日付で伊藤忠飼料株式会社から分社化された飼料製造会社（みらい飼料株式会社）に当社が 51% を出資し、同社を連結子会社化したことであります。みらい飼料株式会社への出資金及び貸付金に充当するために、伊藤忠商事株式会社及び伊藤忠飼料株式会社を含む伊藤忠グループ 3 社を引受先とする第三者割当増資を行いました。もう 1 つは日本ハム株式会社との提携で、その内容は、従来からの飼料を中心とした相当量の取引関係をより一層強固なものにし、更に発展させるために、相互に資本参加することです。当社は、日本ハム株式会社の株式を取得するために、同社を含む日本ハムグループ 3 社を引受先とする第三者割当増資を行いました。

その結果、当第 3 四半期連結累計期間の業績は、売上高 1,258 億 67 百万円（前年同四半期比 6.6% 増）、営業利益 24 億 69 百万円（前年同四半期比 80.2% 増）、経常利益 27 億 52 百万円（前年同四半期比 92.6% 増）、親会社株主に帰属する四半期純利益 20 億 51 百万円（前年同四半期比 113.0% 増）となりました。

売上高は、みらい飼料株式会社の連結子会社化などにより、6.6% の増収となりました。営業利益は、販売費及び一般管理費が増加したものの、畜産飼料販売量の増加や売上総利益率の上昇などにより、80.2% の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業外収益に貸倒引当金戻入額を計上したことや前期に営業外費用に計上した貸倒引当金繰入額がなくなったことなどにより、113.0% の増益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## (飼料)

売上高は、値下げの影響で平均販売価格が低下したものの、みらい飼料株式会社の連結子会社化や販売量が前年同四半期を上回ったことにより、前年同四半期比 6.8% 増の 1,051 億 37 百万円となりました。セグメント利益は、差別化飼料の拡販、原料ポジションの改善による売上総利益率の上昇や販売量増加などにより、前年同四半期比 99.4% 増の 21 億 51 百万円となりました。

## (コンシューマー・プロダクツ)

売上高は、畜産物、ペットフードともに増加したことにより、前年同四半期比 3.5% 増の 151 億 80 百万円となりました。セグメント利益は、増収効果と経費削減による利益率向上などにより、前年同四半期比 106.0% 増の 3 億 24 百万円となりました。

## (その他)

売上高は、前年同四半期比 12.8% 増の 55 億 49 百万円、セグメント利益は、前年同四半期比 48.8% 増の 2 億 40 百万円となりました。増収増益となった主な理由は、畜産用機器の販売台数と有機肥料の販売量が増加したためであります。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第 3 四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ 180 億 85 百万円増加の 834 億 94 百万円となりました。総資産が大きく増加した主な要因は、子会社取得によるものであります。流動資産は 537 億 34 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 134 億 54 百万円増加しました。これは主に現金及び預金が 13 億 19 百万円、受取手形及び売掛金が 117 億 18 百万円、原材料及び貯蔵品が 6 億 83 百万円増加したことによるものであります。固定資産は 297 億 60 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 46 億 31 百万円増加しました。これは主に無形固定資産が 2 億 22 百万円減少したものの、有形固定資産が 35 億 35 百万円、投資有価証券が 14 億 9 百万円増加したことによるものであります。

## (負債)

当第 3 四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ 126 億 21 百万円増加の 398 億 4 百万円となりました。負債が大きく増加した主な要因は、子会社取得によるものであります。流動負債は 343 億 34 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 122 億 59 百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金が 85 億 45 百万円、短期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が 37 億 10 百万円増加したことによるものであります。固定負債は 54 億 69 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 3 億 61 百万円増加しました。これは主にその他の固定負債が 2 億 78 百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第 3 四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ54億64百万円増加の436億89百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が 2 億74百万円、繰延ヘッジ損益が 4 億82百万円減少したものの、第三者割当増資を行ったことにより資本金、資本剰余金がそれぞれ20億40百万円、利益剰余金が15億42百万円、非支配株主持分が 5 億42百万円増加したことによるものであります。総資産の増加が純資産の増加を上回った結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ6.7ポイント減少の51.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年 3 月期の業績予想につきましては、平成27年10月29日に公表いたしました数値から変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年 9 月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年 9 月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第 7 号 平成25年 9 月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第 1 四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第 1 四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第 3 四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2 項(4)、連結会計基準第44－5 項(4)及び事業分離等会計基準第57－4 項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第 1 四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,163	2,482
受取手形及び売掛金	27,684	39,403
商品及び製品	2,226	2,604
仕掛品	659	653
原材料及び貯蔵品	5,733	6,417
その他	3,150	2,699
貸倒引当金	△338	△527
流動資産合計	40,279	53,734
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物 (純額)	6,216	7,008
機械装置及び運搬具 (純額)	5,240	6,863
工具、器具及び備品 (純額)	601	678
土地	7,173	8,363
リース資産 (純額)	20	17
建設仮勘定	176	31
有形固定資産合計	19,428	22,963
無形固定資産	619	397
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	4,207	5,617
長期貸付金	315	—
退職給付に係る資産	82	73
その他	1,364	894
貸倒引当金	△888	△187
投資その他の資産合計	5,080	6,398
固定資産合計	25,128	29,760
資産合計	65,408	83,494

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	10,344	18,890
短期借入金	6,015	9,862
1年内返済予定の長期借入金	2,155	2,018
未払法人税等	441	162
賞与引当金	457	198
役員賞与引当金	36	—
その他	2,624	3,202
流動負債合計	22,075	34,334
固定負債		
長期借入金	2,943	3,009
債務保証損失引当金	45	37
退職給付に係る負債	490	515
資産除去債務	84	84
その他	1,544	1,822
固定負債合計	5,107	5,469
負債合計	27,182	39,804
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,695	4,736
資本剰余金	2,353	4,394
利益剰余金	31,145	32,687
自己株式	△92	△64
株主資本合計	36,101	41,754
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,742	1,468
繰延ヘッジ損益	451	△31
為替換算調整勘定	15	11
退職給付に係る調整累計額	△106	△76
その他の包括利益累計額合計	2,102	1,371
非支配株主持分	21	564
純資産合計	38,225	43,689
負債純資産合計	65,408	83,494

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第 3 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年12月31日)
売上高	118,054	125,867
売上原価	107,344	113,819
売上総利益	10,709	12,048
販売費及び一般管理費	9,338	9,579
営業利益	1,370	2,469
営業外収益		
受取利息	8	6
受取配当金	94	97
持分法による投資利益	—	4
貸倒引当金戻入額	—	156
債務保証損失引当金戻入額	2	7
保管料収入	137	137
その他	129	117
営業外収益合計	373	527
営業外費用		
支払利息	63	45
持分法による投資損失	18	—
貸倒引当金繰入額	102	—
保管料原価	128	128
株式交付費	—	29
その他	1	40
営業外費用合計	314	244
経常利益	1,429	2,752
特別利益		
固定資産売却益	5	1
投資有価証券売却益	2	—
ゴルフ会員権売却益	—	0
特別利益合計	7	1
特別損失		
固定資産除売却損	33	15
投資有価証券評価損	5	7
ゴルフ会員権評価損	0	5
特別損失合計	38	27
税金等調整前四半期純利益	1,397	2,726
法人税、住民税及び事業税	455	488
法人税等調整額	△33	223
法人税等合計	422	712
四半期純利益	974	2,013
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	11	△38
親会社株主に帰属する四半期純利益	963	2,051



(四半期連結包括利益計算書)  
(第 3 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	974	2,013
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	339	△274
繰延ヘッジ損益	553	△482
為替換算調整勘定	0	△0
退職給付に係る調整額	2	29
持分法適用会社に対する持分相当額	6	△3
その他の包括利益合計	901	△731
四半期包括利益	1,876	1,281
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,865	1,320
非支配株主に係る四半期包括利益	11	△38

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年8月21日付で、第三者割当増資の払込みを受けた結果、資本金が20億40百万円、資本剰余金が20億40百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が47億36百万円、資本剰余金が43億94百万円となっております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	コンシューマー・ プロダクト	計				
売上高							
外部顧客への売上高	98,461	14,674	113,135	4,918	118,054	—	118,054
セグメント間の 内部売上高又は振替高	604	0	605	46	651	△651	—
計	99,065	14,674	113,740	4,965	118,705	△651	118,054
セグメント利益	1,079	157	1,236	161	1,398	△1	1,397

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△730百万円、金融収支748百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	コンシューマー・ プロダクト	計				
売上高							
外部顧客への売上高	105,137	15,180	120,318	5,549	125,867	—	125,867
セグメント間の 内部売上高又は振替高	541	0	541	49	591	△591	—
計	105,679	15,180	120,860	5,598	126,458	△591	125,867
セグメント利益	2,151	324	2,476	240	2,717	8	2,726

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△770百万円、金融収支740百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。